

藍を染めよう！

緑からアオを染める

インドシナ原産といわれる藍は、飛鳥時代に日本に伝来したといわれています。特に江戸時代には庶民の染料として親しまれてきました。

今回は、原初的な技法である「たたき染め」を含む、3つの技法と異なる素材でさまざまな藍の「色」を楽しみます。

講師 ● 柳田 哲雄 氏

(東北芸術工科大学芸術学部美術科テキスタイルコース講師)

日時 ● 8月10、17日 (いずれも日曜日・全2回)
午前10時～12時 (2時間)

対象 ● 鶴岡市に在住、または通勤・通学している方
※高校生以上

定員 ● 先着 16名

費用 ● 4,000円 (材料費込)

会場 ● 鶴岡アートフォーラム アトリエ

持物 ● エプロン (汚れてもよい格好)、ビニール手袋、バスタオル

申込 ● 7月3日(木)～7月31日(木) ※休館日を除く
館内受付にて費用を添えてお申込みください
(午前9時～午後7時/電話予約可)

主催 ● 鶴岡アートフォーラム/鶴岡市教育委員会

第1講

8月10日

- ① 藍の葉でたたき染めをしよう！
綿のハンカチに藍の葉をたたき染め
- ② 生葉染めで絹のスカーフを染めよう！
藍の葉をミキサーで青汁のようにして
絹のスカーフを染める

第2講

8月17日

- ③ 生葉染めの残り汁で、藍を建てて発酵建ての藍染めをしよう！
しぼりや、板締めで麻のコースター、
ランチョンマットを染める

現在、藍は成長中です♪



〈藍草〉